

## あの日を忘れません…あれから1年1ヶ月…バトンをつなぎます

1年前の今日、「東日本大震災被災地応援実行委員会」が発足しました。そして1年の間に気仙沼をはじめ、石巻福島の各地域の被災者の方々に、支援物資という「モノ」と、応援したいという「きもち」を合わせてお届けするうちに、「絆」が結ばれました。

被災者お一人お一人の、一年一ヶ月を思うと、「悲しみを抱いて生きる」辛さと強さを感じます。

私たちは、被災者のみなさんの生き方から、学び続けます。

## 新学期の文具を届けよう

こんにちは、昨年の西紋実行委員長よりバトンを受け取りました。

今年度実行委員長を務めさせていただく高校2年の佐藤千亜紀です。よろしくお願いします。

震災から一年がたち、テレビや新聞などでも被災地の状況をリアルな形で見ることが少なくなっているため被災地の状況がだんだんと、ましになって復興してきていると思っている方もおられるかもしれませんが、しかし、昨年からはあまり変わっていないのが現実です。

皆さんも知っているとは思いますが、がれきの受け入れをめぐる各自治体では賛否が分かれています。また被災地では、日がたつにつれ頑張ろうと思っていた気持ちが失せて、落ち込み、心の病になっている人も少なくはありません。

福島はとりわけ原発事故の影響で復興へのメドも希望も持ちにくい現実があります。

今年も私たちができることからまずは支援を始めたいと考えています。

私たちが今日このように新学期を迎えたように被災地の学生たちも新学期を迎えています。

そこで未使用の消しゴム、鉛筆、ノートセットにして被災地に送るため皆さんに一人各一つずつ持ってきてもらいたいと思っています。

今朝から校門に実行委員が立っていますから渡して下さい。



## あなたも一緒に活動しませんか

私たちは被災地におられる人達が一人でも多く私たちの支援により笑顔になってもらえたらなと思っています。

被災地のために「何かしたい」また「何もできない」と思っている人はぜひ東日本大震災被災地応援実行委員会にはいて、一緒に被災地の事を考え、学習しながら活動しましょう！

<裏面も読んで下さい>

# 被災地支援バザー開催



この日は、授業参観日です。また、この日は、世界中の国で、一齐に「震災について考える授業」が行われます。そこで、本校でも各教科で震災について考える授業が行われる予定です。

また、保護者会は、バザーの品々を提供するという形で、この企画に参加して下さいます。

今年も、被災された方が、今何が必要かをしっかり聞き取りながら、支援物資を送ろうと思います。

みなさんも、バザーにご協力下さい。

## 昨年度の義捐金報告

バザー売り上げなどの義捐金他、タオル・バンダナなどの純益、生徒会・保護者会からの模擬店収益の募金

卒業生や、保護者個人からの募金、学習会講師の謝礼などで全体の義捐金は1,095,234円。

この義捐金で、被災地への支援物資（布団・文房具・こたつ&こたつ布団セット・ストーブセット・オイルヒーター・電気カーペット・パネルヒーターなどの暖房器具、帽子・手袋・マフラー・ダウンジャケット等の防

寒着、ミシンやトースターなどの家電製品）総額1,002,612円を送りました。

## リレートーク

「今、被災地では…被災者は…そして私が思うこと」こんなテーマで、今月号からは、みなさんに「轍」に投稿をお願いします。最初は色々勉強して、日々怒りを感じているディーン先生にお願いしました。

### 避けられたはずの悲劇・福島原発事故

悲劇には2種類ある。避けようのない事故。例えば台風のようなもの。それは、だれも責めることはできない。私たちにできることは、被害者の冥福を祈ること。しかし、もう一つの悲劇は人災であり、それはより深刻である。なぜならばそれは起こるべくして起きた事ではないからである。今回の福島原発事故は、人類の歴史至上最悪の産業災害、つまり「人災」であるといわれている。この事故は企業の利益優先の考えや、官僚の傲慢さ、政治のリーダーシップの欠如などが組み合わさって起きたものであると思う。私が考えるのは、この事故について国民の怒りが少ないのではないかと思う。自分の国を愛すれば、怒りが沸いてくるはずだと。事故後もその対応を見る限り、政治姿勢が変化したようには見えない。原発事故についての全容が国民に知らされているのか。知らされている情報で国民が正しい判断ができていないのか私は疑問である。生徒諸君に考えてほしい。現在54基の原発が日本にある。日本は地震大国である。何が必要であり、何がいらぬのかを。一部の政治家の判断に頼らずに、自分自身の頭で考えられるようになってほしい。それこそが民主主義の社会で生きる上で大切なことなのだから。（英文翻訳協力者は板倉・奥両先生でした）